

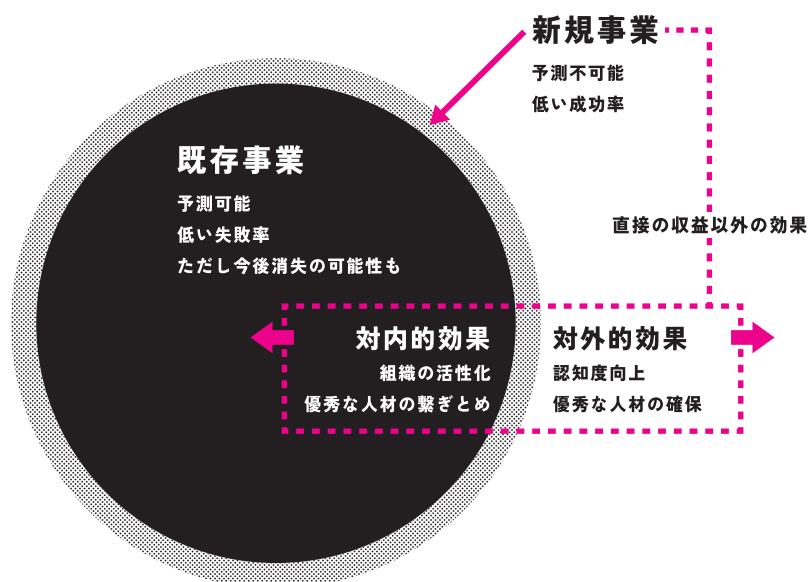
絶えず変化し続ける世界において企業や組織が持続するには、既存事業の継続的な改善と新規事業の両輪からなるイノベーションが必要です。

既存事業は過去から予測可能で、失敗率が低く、改善により短期的な効果が期待できますが、外的要因の変化によりいずれ消失する可能性があります。くわえて、既存事業のみに依存すると、売り手市場となっている状況下で優秀な人材を確保するのが難しいだけでなく、現在在籍している優秀な人材を繋ぎとめるのも難しくなります。

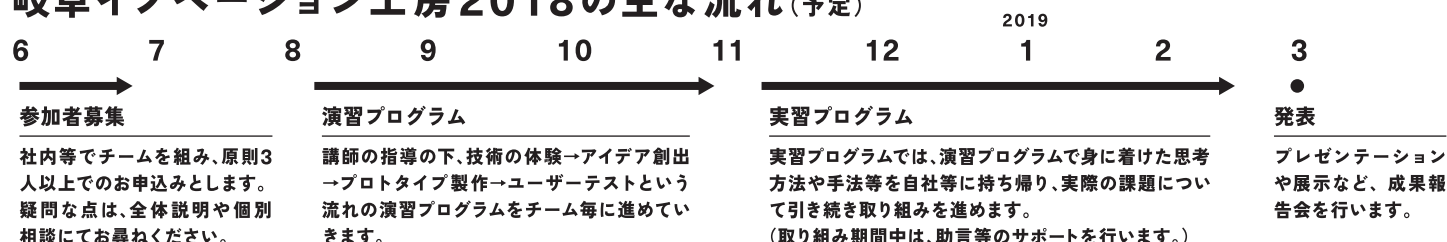
一方で、新規事業は予測不可能で、成功率が低く、短期的な収益は期待できません。しかしながら、直接の収益以外に、認知度向上、組織の活性化、優秀な人材の確保など、中長期的に見たさまざまな効果が期待できます。

岐阜イノベーション工房は、IoT・AI・デジタル設計／製造など、急速に浸透しつつある技術の世界的な変化およびその本質を学び、自ら製品・サービスのアイデアを創出し、実際に体験できるプロトタイプをつくるところまでを体験することにより、イノベーション創出に取り組める人材を育成するプログラムです。

情報科学芸術大学院大学[IAMAS]がこれまでに確立してきた、デザイン思考とシステム思考に関する知見の中で、製品・サービスの開発に応用できる部分を短期集中の演習プログラムで学び、その後の実習プログラムで深めます。



岐阜イノベーション工房2018の主な流れ(予定)



岐阜イノベーション工房2018の内容

1 演習プログラム

※受講者の構成や講師の都合により、開催日時や内容を変更することがあります。

1 IoT演習 8月24日(金) 9:00-12:00、13:00-16:00	ソニーのIoTツールキット「MESH」などを用いて、センサー、アクチュエーター、ウェブサービスが連携した簡単なIoTサービスのプロトタイプを短時間でつくります。
2 AI演習 8月31日(金) 9:00-12:00、13:00-16:00	機械学習のフレームワークを用いて、画像や音などの入力を識別するAIを短時間でつくります。
3 デジタル設計演習 9月7日(金) 9:00-12:00、13:00-16:00	クラウドベースのデジタル設計ツール「Fusion360」を使用し、レーザー加工機および3Dプリンタで加工できるデータをつくります。
4 デジタル製造演習 9月14日(金) 9:00-12:00、13:00-16:00	前の演習において作成したデータを基に、レーザー加工機および3Dプリンタで実際に製造します。
5 フィールドワーク演習 9月21日(金) 終日	今後の日本が直面するであろう課題を先取りして体験できる現場を訪問し、観察とインタビューによってデータを収集し、サービスデザインの手法を用いて分析します。
6 アイデアスケッチ演習 9月28日(金) 9:00-12:00、13:00-16:00	フィールドワークで見つけた課題に対して、これまでに学んだIoT、AI、デジタル設計と製造のスキルを踏まえてアイデアを出して紙の上にペンでスケッチし、ディスカッションを通じて発展させます。
7 ハードウェアスケッチ演習 10月5日(金) 9:00-12:00、13:00-16:00	前の演習において出したアイデアを基に、これまでに学んだスキルとデジタル工作機械などのツールを活用して短時間で実際に体験できるハードウェアでのスケッチをつくります。
8 プロトタイプ製作演習 10月12日(金) 9:00-12:00、13:00-16:00	前の演習で製作したハードウェアでのスケッチを発展させ、実際のプロダクトやサービスであるかのように体験できるプロトタイプを製作します。
9 ユーザーテスト演習 10月26日(金) 9:00-12:00、13:00-16:00	前の演習で製作したプロトタイプを実際の利用場面に近い現場に持ち込んで試してもらい、もしくは、実際に現場に近い環境を構築して実際の利用者に近い人々に来てもらい、想定との違いから課題と可能性をみつけます。
10 ドキュメンテーション演習 11月2日(金) 9:00-12:00、13:00-16:00	ユーザーテストを踏まえてさらに改良したプロトタイプを発表し、静止画や動画を撮影し、テキストを書いて最終成果物とプロセスについてまとめていきます。

2 実習プログラム

演習プログラムで学んだ考え方や方法論をそれぞれの組織等に持ち帰り、自分たちで設定した実際の課題に取り組むことにより、演習プログラムでの体験を経験として昇華することを目的として取り組みます。主催者側から助言等のサポートは行いますが、スケジュールの設定も含め、それぞれのチームで自発的に意志決定して行動することが求められます。

この期間中の成果としては、製品やサービスのプロトタイプの製作や、組織内において新規事業創出に取り組むための体制の整備などを想定しています。期間内で完結する小規模なものだけでなく、次年度以降の継続も視野に入れた挑戦を歓迎します。

3 成果報告会

実習プログラムの終了後には、期間中の成果を報告する公開の成果報告会を開催します。この報告会では、成果に加えて、実際に取り組んだ上で直面した課題などについてもできる限り共有していただけることを期待します。なお、公開ではありますが、権利化に向けて進める意向が確認できている場合には、新規性を喪失しないために必要な配慮を行います。

申込みについて

応募条件 岐阜県内に事業所等を有する企業等の経営者または従業員
募集人数 15人（原則3人以上で編成するチームで参加申込みをしてください。）
申込開始 6月1日(金)
参加申込 6月25日(月)までに別紙申込用紙を郵送または持参(17時必着)申込書の記入項目で記入が不明な箇所がありましたらご相談ください。
結果通知 7月上旬

プログラムについての説明/申込み相談に関して

プログラムや参加申し込みに関し、ご質問やご不明な点は、フォームメールもしくはお電話にてご相談ください。また下記日程で説明・相談会を開催いたします。参加を希望される場合は参加日をご連絡ください。

相談会日時

日 時 6月5日(火)、12日(火)、19日(火)
13:00-13:30 全体説明 13:30-17:00 個別相談

場 所 〒503-0807 岐阜県大垣市今宿6-52-16
ソフトピアジャパンドリームコア5F ミーティングルーム

連絡先 <https://bit.ly/gifuinnov>

TEL:0584-75-0569 担当:佐藤(有限会社トリガーデバイス)

留意事項 ●事業趣旨をよく理解し、企業等の所属長等を通じ、業務として参加してください。●全てのプログラムへの参加が必要です。(一部のみの受講はできません。)●参加申込み後、問い合わせまたは面談をお願いすることがあります。●応募者多数の場合は、事業趣旨に基づき、選考により決定します。●演習プログラムの受講料は無料です。●実習プログラムの受講料も無料ですが、自社内での新商品/新サービス等の開発に取り組む費用は全額企業等の負担となります。●実習プログラムの現地サポート(技術的助言等)は上限があります。●会場までの交通費及び宿泊費は企業等の負担、自己手配となります。●フィールドワークの移動費および宿泊費は企業等の負担となります。●標準的な操作が可能なパソコンを準備の上、参加してください。●応募にあたり収集した個人情報等は、本事業の実施に必要な場合を除き、使用しません。●受講決定者について、事業開始前までに、全てのプログラム参加の記録に関する同意および関係者間の権利発生に備え、あらかじめ知的財産権等の整理に関する同意を求めます。●情報科学芸術大学院大学から委託を受けた事業者が運営管理を行います。

お申込み・お問い合わせ先 有限会社トリガーデバイス
〒503-0807 岐阜県養老郡養老町大野2-12
TEL:0584-75-0569 WEBフォーム:<https://bit.ly/gifuinnov>

情報科学芸術大学院大学[IAMAS](事務局教務課) 主催
〒503-0006 岐阜県大垣市加賀野4丁目1-7 <http://www.iamas.ac.jp>
TEL:0584-75-6641 MAIL:jimukyoku@ml.iamas.ac.jp